

学校だより

11 インディアナ日本語学校
No29 (12月)全校生359人

「想定外」撲滅の勧め

あることの真偽を確かめるために発する言葉に、「うそ！」と「本当！」があります。どちらの言葉も同じ意味で使われているのに、発する言葉は正反対です。子どもには、親の無意識の言葉や行動が影響することが多くあることを意識して、子育てでの、「想定外」がないようにしたいですね。

新しい友達

幼 吉田 ロイス	小2-1 鎌倉 圭牙
幼 ゆり 松井 聡太	小3-2 竹田 直生
幼 ゆり 西嶋 珂音	小6-2 竹田 直地
小1-1 星野 日紀	中 3 竹田あかり

お知らせ

- 1 入園申込数: 36人(9日現在)
- 2 「漢字検定の結果」の配付
- 3 次週(17日)が休校の場合
○「学習の記録」は、3学期にお渡しします。
○休校になる場合、前日の金曜日にHPと保護者会の連絡網で知らせます。
- 4 保護者会からの配付物
○臨時総会の資料

文章を書こう

<p>1 年 さいとう 斉藤 さくら</p>	<p>きょう、ボーリングにいきました。わたしが、さいしょになげました。3ぼんたおれました。おとうさんは、たくさんストライクをだしてじょうずでした。おかあさんはなかなかたおれませんでした。おねえさんは、とてもじょうずでした。かぞくでいっしょにいたのしかったです。</p> 
<p>2 年 ごや めいこ 呉屋 芽衣子</p> 	<p>【歩さんのこと】歩さんがとくいなことは、テニスです。歩さんに、「テニスのどこがとくいなんですか」と聞くと、「テニスのたまをうつのが好きです」と答えてくれました。歩さんは、ほかにも好きな物があります。DSと本です。私もDSと本は好きです。そのDSは、もともとお父さんが使わなくなったからもらったそうです。歩さんは、いつもねごっこを休み時間にしてます。いきなり私がかいぬしみたいにされることもあります。わたしも、そのねごっこのせいで休み時間が楽しくなっています。</p>
<p>2 年 したら なお 設楽 尚</p> 	<p>11月5日に三たい三のサッカートーナメントをしました。さいしょのしあいにまけたら、ぼくのおにいさんがおとうさんに、「うるさい」と言いました。なぜかと言うと、しあいちゅうにおとうさんがいちいちしじをしたからです。だから、おとうさんはつぎのしあいをだまって見ていました。そして、こんどはおにいさんがしじをだしてぜんぶかてました。さいしょは、小さい子は弱いと思ったらつよかったです。トーナメントではおにいさんがかつやくしました。そして一と二になった人たちはしょうひんをもらえました。たのしかったです。</p>
<p>4 年 ばんの ちなつ 坂野 千夏</p> 	<p>私は、パデュー大学のミュージカルに行きました。ミュージカルでは、クリスマスの歌をいっぱい歌ってました。女の人と男の人がいっしょに歌ったり一人で歌ったりしていました。一番心に残ったのは、いろいろな人がベルだけを使ってえんそうしている場面でした。どうして心に残ったかという、ベルだけしか使っていないのに、いろいろな音が出ていたからです。ミュージカルは、すごく楽しかったのもう一度行きたいです。</p>
<p>5 年 かわはら こうじ 河原 幸司</p> 	<p>【あと2年半】 2年半前、母が、「ぼくたちは、アメリカにいくよ」と言った。信じられなかった。ぼくは、「いやだ・・・」と言って、なぜか泣いた。おじいちゃんとおばあちゃんとはなれるのがとてもつらかった。シカゴで父が出むかえてくれてとてもうれしかった。ミツワに行ったとき、日本のスーパーマーケットとは知らず、「何だ、アメリカにはこんなに日本人がいるんだ」と思ったら、父が、「ここは、日本のスーパーマーケットだよ」と言われてがっかりした。ぼくが、一番心配していたのは、学校だ。初めての日は、学校でまいごになった。なにもかも意味不明だった。でも、今は友達がたくさんいるし、英語も話せるようになった。ぼくは、アメリカに来てとてもよかったと思う。なぜなら、旅行ができるし雪も山ほどふるからだ。メジャーリーグの試合も6回観戦することができた。そのおかげで、野球が大好きになった。あと2年間で、もっと旅行をし英語もかんぺきにして、野球もがんばりたい。</p>
<p>6 年 しょうの はるか 庄野 温花</p> 	<p>【『やまなし』を読んで】私はこの物語を読んで、宮沢賢治は自然を心から愛していることが分かりました。なぜならば、しゃべれない生き物たちの気持ちを、賢治が代わって伝えてくれているからです。例えば、12月になってやまなしが川の天井に落ちてきた時、「待て待て。もう二日ばかり待つとね、こいつは下へしずんでくる。それから、ひとりでおいしいお酒ができるから」と書いてあるところ。ふつうはどんなに想像力が強くても、かにかこんなことを思っているとは思いつかないと思います。今度母といっしょに、まだ読んでいない「風の又三郎」を読んで、どんなおもしろいことがあるのかみてみたいです。疑問に思ったことは、「かぶかぶ笑う」や「ぼかぼか」などの変な音の表し方をしているところです。ふつうは「けらけら笑う」や「ぶかぶかなパンツ」と使うのに、なぜこんな音がでてくるのかよくわかりません。今度本当に笑って、どんな音になるか確かめてみます。</p>